

---

# 日本自閉症スペクトラム学会 第11回研究大会プログラム

---

アジアの視点から自閉症スペクトラム支援を捉え直す

2012年8月24日(金)・25日(土)

会場: つくば国際会議場



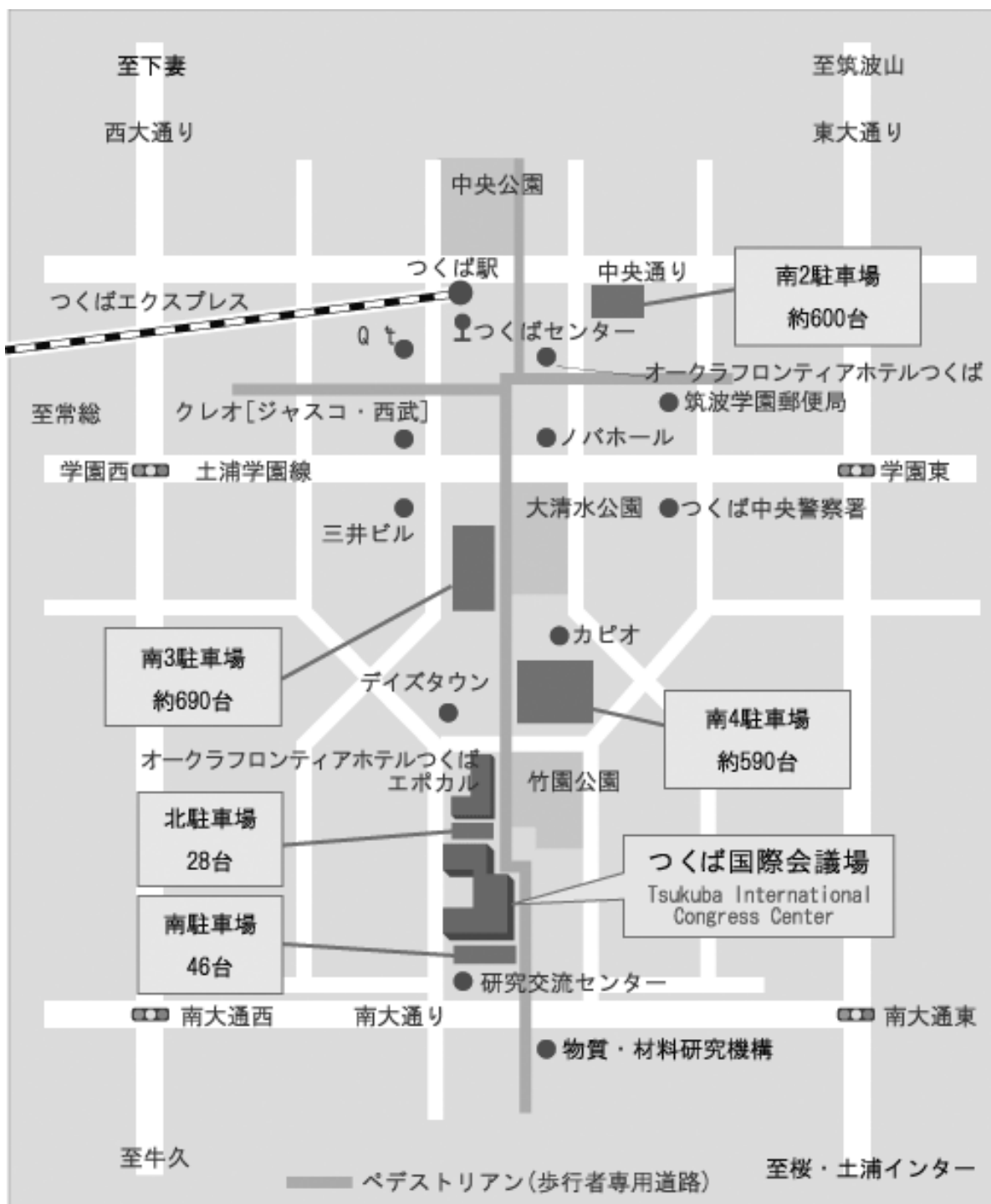
## 大会会場「つくば国際会議場」までのアクセス方法



東京からはつくばエクスプレスのご利用が最も確実です。  
(秋葉原ーつくば間 快速 45分, 区間快速 52分)



※つくば駅前のバス停は「つくばセンター」です。



※つくば駅、つくばセンター(バス停)からは、ペDESTリアンデッキをとおいでください。

### つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3

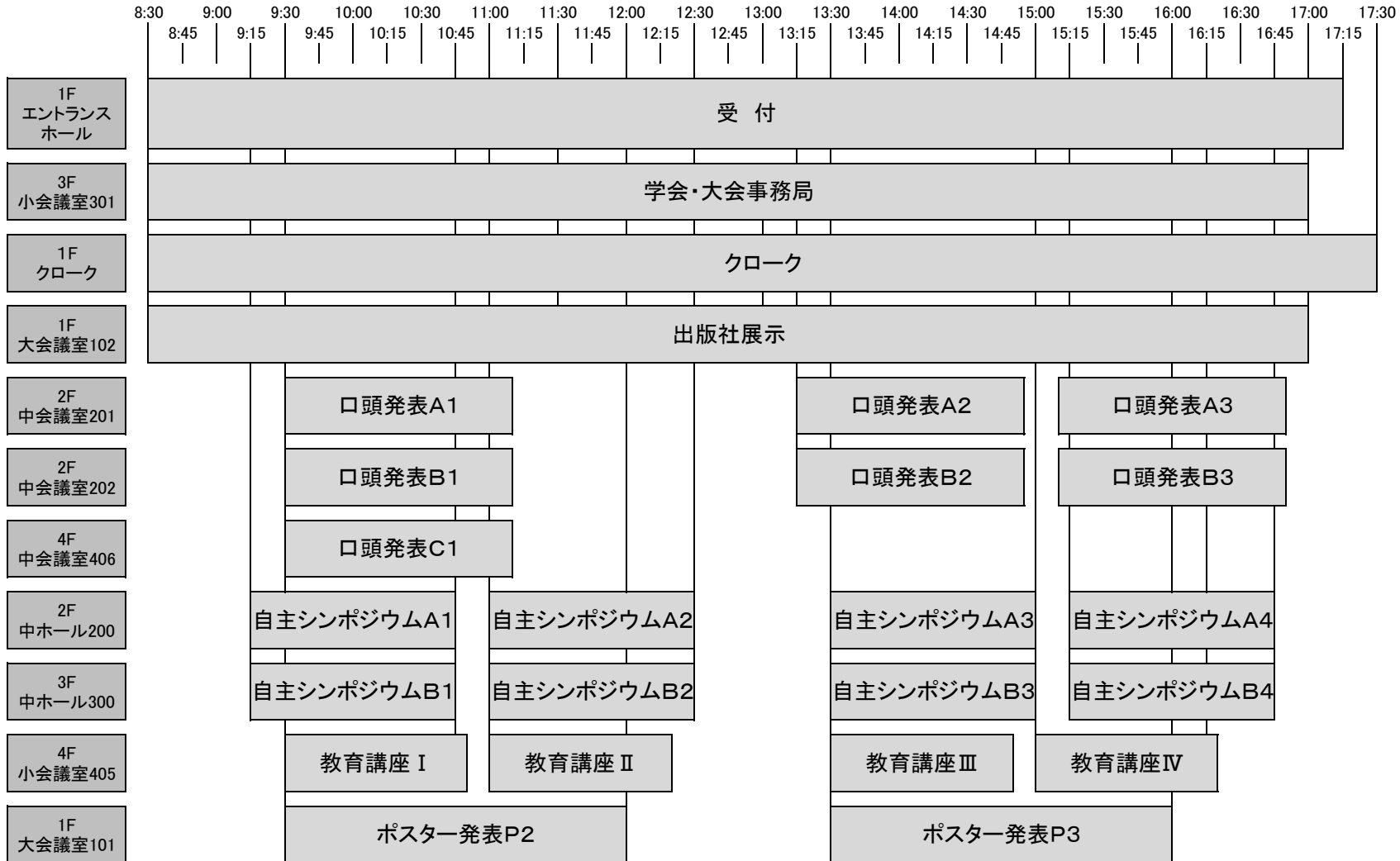
TEL : 029-861-0001 FAX : 029-861-1209

<http://www.epochal.or.jp/>



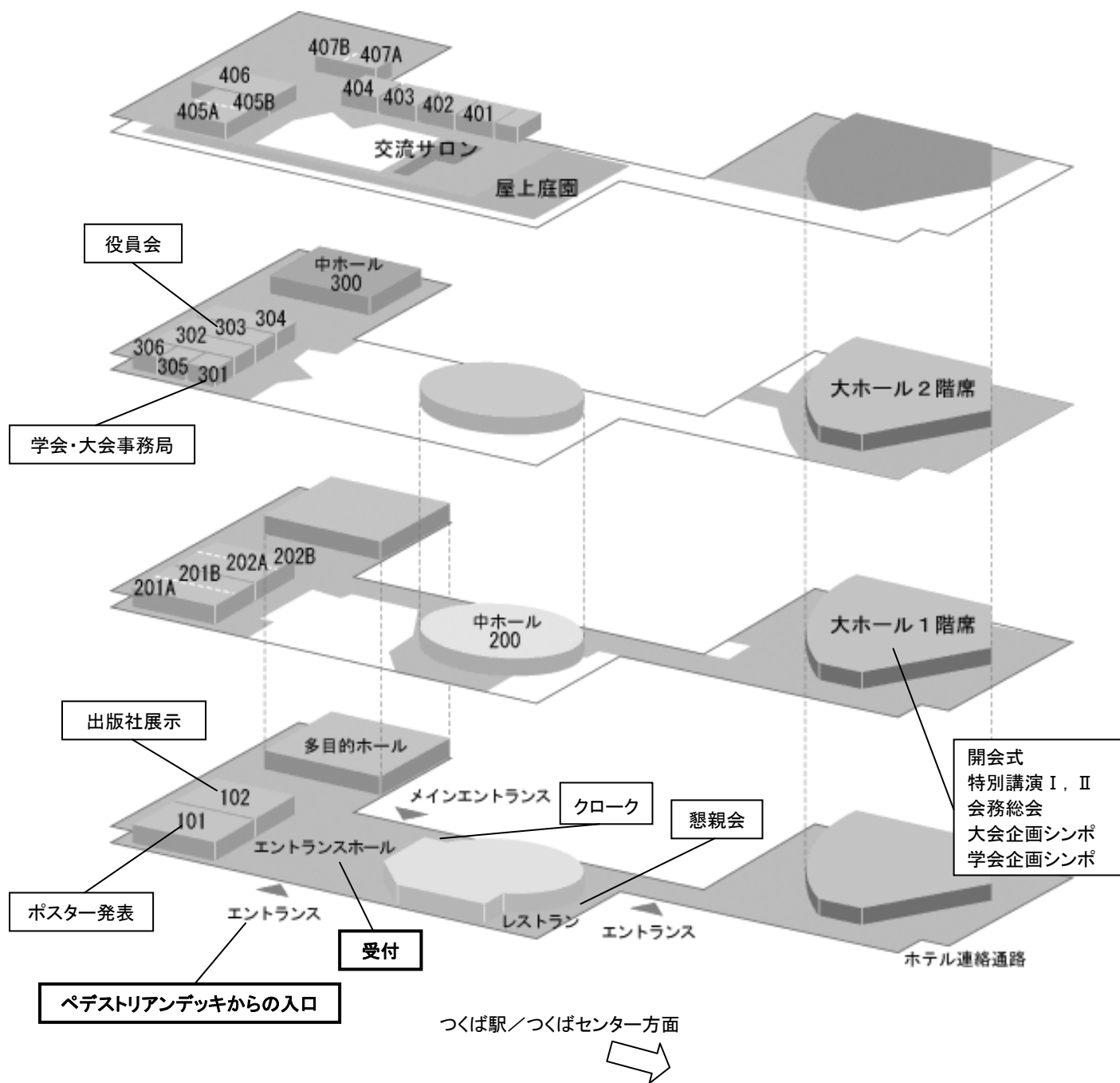
# 2012年 日本自閉症スペクトラム学会 第11回研究大会プログラム

第2日(8月25日 土曜)

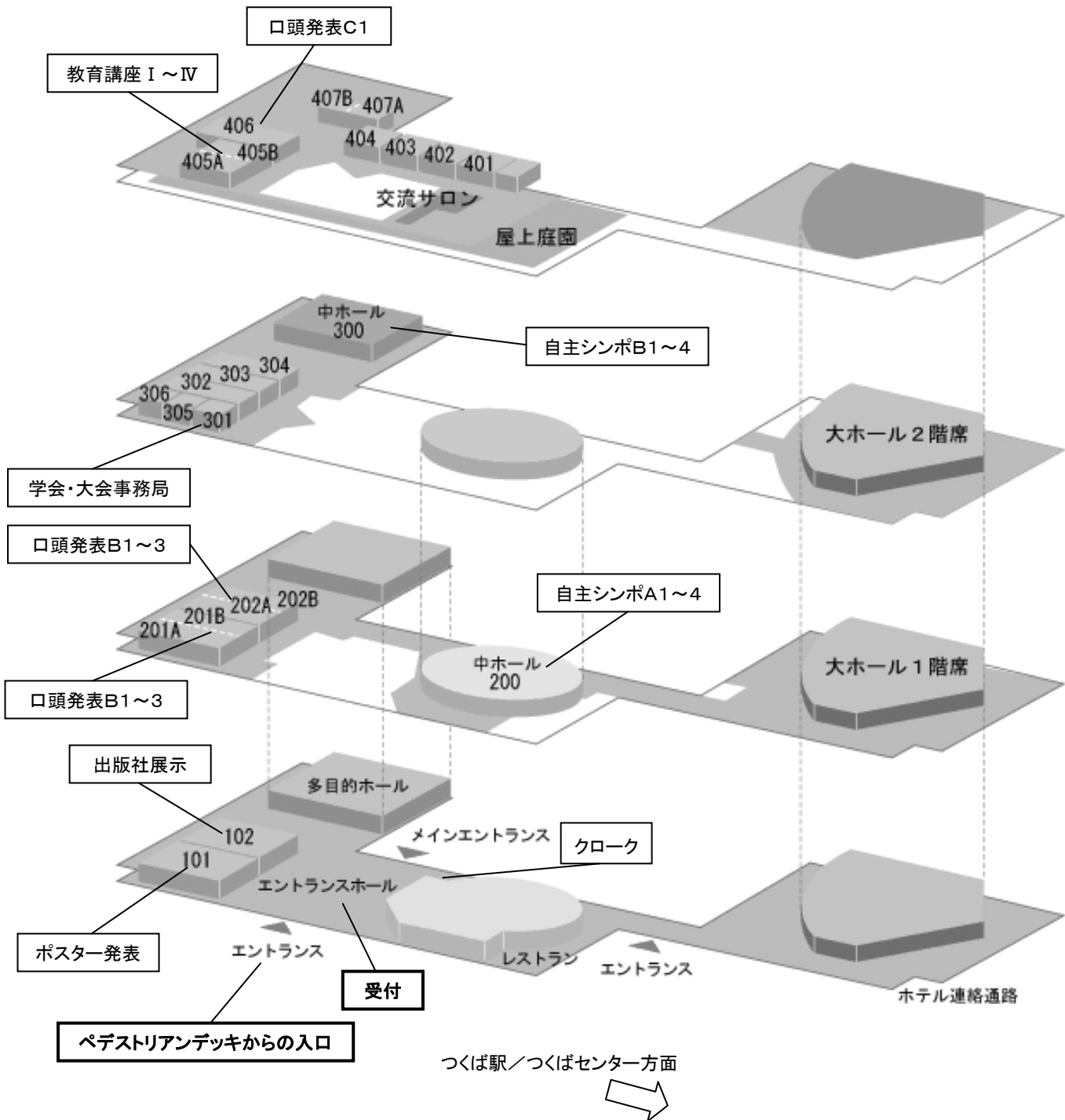


# つくば国際会議場 案内図

## 第1日 (24日, 金曜日)



第2日 (25日, 土曜日)



## 大会参加者へのご案内

### 1 会務総会

大会第1日目（8月24日、金曜日）の午後12時50分より1時30分まで、1階大ホールにて会務総会を開催します。学会会員のみなさまはご出席ください。

### 2 諸費用

会員参加費	予約参加	6,000円	連名発表者、自主シンポジウム関係者は必ず前納してください。
	当日参加	7,000円	
臨時会員参加費	2日間	一般 7,000円	会員でない方は予約できませんので、当日受付で納入してください。
		学生 5,000円	
	1日のみ	一般 3,500円	
		学生 2,500円	
懇親会費	6,000円		1日目に受付にてお申し込みください。定員100名になり次第締め切ります。

\* 自主シンポジウムで話題提供、指定討論をされる臨時会員の方も参加費が必要となります。

\* 予約参加費を振り込まれた方には、「参加予約票／領収証」をお送りいたしました。大会当日必ず受付に提示してください。

### 3 参加証について

予約参加の会員（参加予約票／領収証のハガキをお持ちの方）：学会開催中1日ごとに参加証を発行します。研究大会受付（1階エントランスホール）にご用意しておきますので、両日とも午後4時30分以降にお忘れないようにお持ち帰りください。取り忘れによる再発行や郵送はいたしませんのでご了承ください。

当日参加の会員（参加予約票／領収証のハガキをお持ちでない方）：学会開催中1日ごとに参加証発行申請をしてください。発行申請用紙は、研究大会受付（1階エントランスホール）付近にご用意しておきますので、忘れないように1日ずつ申請してください。

### 4 クロークについて

クロークは1階にあります。両日とも午前8時30分から午後5時30分までです。貴重品はお預かりできません。両日とも終了までに荷物を必ずお引き取りください。

### 5 研究発表について

#### (1) 研究発表の資格



- ①筆頭発表者および連名発表者は、会員に限ります。会員は2012年度の年会費の納入を完了してください。会員でない方は入会手続きを済ませ会員資格を取得してください。
- ②筆頭発表者、連名発表者とも、大会参加費の支払いを必ず事前に完了してください。
- ③筆頭発表者での研究発表は1人1題に限ります。連名発表者はその限りではありません。

## (2) 発表形式

### 【口頭発表】

- ①発表時間は1題につき15分、質疑応答5分、計20分です。12分で1鈴、15分で2鈴（発表終了）、20分で3鈴が鳴ります。発表時間を厳守するようにしてください。なお、口頭発表1セッション（原則として4題発表）が終了した後、そのセッションでの全体討論（20分間）が設けられます。したがって、1セッションは100分となります。
- ②使用できる機器は、パソコン、プロジェクター、DVDドライブ（発表申し込み時に希望のあった方のみ）です。
- ③会場で用意するパソコンはOSがWindows(PowerPointインストール済)です。会場のパソコンを使用する方は、データファイルをUSBメモリに入れてご持参ください。
- ④会場のパソコンを使用する方は、セッション開始前に、データを会場のパソコンに移し、動作確認をしていただきます。また、パソコンを持参される方は、セッション開始前に、接続確認をしていただきます。筆頭発表者は発表15分前に各発表会場に集合するようにお願いします。

### 【ポスター発表】

- ①ポスター発表は、下表の時間に行われます。

セッション番号	ポスター掲示時間	在席責任時間	
		奇数番号	偶数番号
P 1	24日(金) 午後2時～4時30分	午後2時～3時15分	午後3時15分～4時30分
P 2	25日(土) 午前9時30分～12時	午前9時30分～10時45分	午前10時45分～12時
P 3	25日(土) 午後1時30分～4時	午後1時30分～2時45分	午後2時45分～4時

ポスター掲示は各セッションの開始15分前から指定された掲示板に発表者の責任で行ってください。

- ②会場に掲示用ボードを用意します。ボードのサイズは、縦 210cm×横 90cm です。ボード内に収まるようにポスターを作成してください。上部に題目、氏名、所属をお書きください。画鋏を会場にご用意いたします。
- ③終了時間になりましたら、ポスターを必ず撤去してください。終了予定時間を過ぎても掲示してあるポスターは大会事務局で処分いたします。

## 6 自主シンポジウム

### (1) 企画者・司会者の資格

- ①自主シンポジウムの企画者・司会者は、2012年4月現在で学会会員である方に限ります。話題提供者と指定討論者は、臨時会員であっても差し支えありません。
- ②自主シンポジウムの企画者・司会者は、大会参加費の支払いを必ず事前に完了してください。自主シンポジウムに關与する臨時会員は、大会参加費を当日受付にお支払いください。

### (2) 発表形式

- ①自主シンポジウムは90分で行います。自主シンポジウムの運営・責任は企画者に一任されます。
- ②使用できる機器およびソフトは、口頭発表と同じです。

### (3) 大会当日の印刷物の取り扱い

資料を配布される方は必要部数をあらかじめコピーしてお持ちください。配布も各自で行ってください。当日の資料印刷は大会事務局ではお引き受けできません。緊急の場合は、各自の責任のもとで大会会場内に設けられた有料コピー機で行ってください。

## 7 教育講座1～4

今大会では、80分の教育講座4件を設けます。大会参加者は聴講可能ですので、ふるってご参加ください。教育講座では資格認定ポイントの付与はありません。

## 8 懇親会

大会第1日目の学会企画シンポジウム終了後、午後6時より、1階レストラン エスポワールにて開催します。予約申し込みされた方は、1階の研究大会受付にて参加費(6,000円)をお支払いください。当日の参加申し込みも研究大会受付にてお願いします。定員100名になり次第締め切ります。

**特別講演Ⅰ【24日（金）9:30～10:25】****大ホール**

テーマ：アスペルガー障害児への障害児教育と才能教育 —台湾での実践から—

講演者：張 正芬（国立台湾師範大学教育学院特殊教育学系 教授）

司 会：園山 繁樹（筑波大学人間系）

**特別講演Ⅱ【24日（金）10:30～11:25】****大ホール**

テーマ：自閉症スペクトラム幼児の幼児特殊教育 —韓国での実践から—

講演者：金 珍熙（韓国・大邱大学校特殊教育リハビリテーション科学研究所 研究教授）

司 会：園山 繁樹（筑波大学人間系）

**会務総会【24日（金）12:50～13:30】****大ホール****大会企画シンポジウム【24日（金）13:40～15:00】****大ホール**テ ー マ：中国における自閉症スペクトラム障害の研究・教育と  
地域を基盤とした特殊学校授業展開の試み

司 会 者：園山 繁樹（筑波大学人間系）

話題提供者：楊 広学（中国・華東師範大学修学前教育・特殊教育学院院長）

徐 徳栄（中国・浙江省寧波市海曙区教育局長）

劉 佳芬（中国・浙江省寧波市達敏学校校長）

指定討論者：柘植 雅義（国立特別支援教育総合研究所）

渡部 匡隆（横浜国立大学教育学部）

通 訳 者：裴 虹（筑波大学非常勤研究員）

**学会企画シンポジウム【24日（金）15:10～16:50】****大ホール**

テ ー マ：新たな自閉症の診断について（DSM を中心に）

企 画 者：市川 宏伸（東京都立小児総合医療センター）

司 会 者：市川 宏伸（東京都立小児総合医療センター）

話題提供者：内山 登紀夫（福島大学大学院）

齋藤 卓弥（日本医科大学）

市川 宏伸（東京都立小児総合医療センター）

指定討論者：柘植 雅義（国立特別支援教育総合研究所）

**教育講座Ⅰ【25日（土）9:30～10:50】**

小会議室 405（4階）

テーマ：行動障害のある人への対応の基本

講師：野口 幸弘（西南学院大学）

**教育講座Ⅱ【25日（土）11:00～12:20】**

小会議室 405（4階）

テーマ：自閉症スペクトラムと WISC-IV

講師：大六一志（筑波大学人間系）

**教育講座Ⅲ【25日（土）13:30～14:50】**

小会議室 405（4階）

テーマ：自閉症スペクトラムと DN-CAS

講師：岡崎 慎治（筑波大学人間系）

**教育講座Ⅳ【25日（土）15:00～16:20】**

小会議室 405（4階）

テーマ：自閉症スペクトラムの人への ABA による支援の基礎と奥義

講師：奥田 健次（行動コーチングアカデミー代表／学校長）

自主シンポジウムA1【25日(土)9:15~10:45】

中ホール200(2階)

テ ー マ：知的障がいのある自閉症青年の生活と課題  
企 画 者：高村 哲郎(神戸市立青陽須磨支援学校)  
司 会 者：高村 哲郎(神戸市立青陽須磨支援学校)  
話題提供者：後藤 久美子(一般社団法人 神戸市手をつなぐ育成会)  
高瀬 菜穂(社会福祉法人 神戸聖隷福祉事業団)  
中島 章雄(発達障害者支援センター・パース)  
指定討論者：日詰 正文(長野県健康福祉部)  
寺山 千代子(星槎大学/日本自閉症スペクトラム学会事務局)

自主シンポジウムB1【25日(土)9:15~10:45】

中ホール300(3階)

テ ー マ：機能の高い自閉症の人のコミュニケーション支援(その3)  
～ライブイベントへの適応を支援するソーシャルストーリーズとコミック会話～  
企 画 者：服巻 智子(佐賀大学大学院教育学研究科)  
司 会 者：服巻 智子(佐賀大学大学院教育学研究科)  
話題提供者：高木 一江(小児療育相談センター/川崎市発達相談支援センター)  
相良 温子(NPO法人それいゆ)  
ナルヲ・ディーブ(成人当事者)

自主シンポジウムA2【25日(土)11:00~12:30】

中ホール200(2階)

テ ー マ：知的障害を併せもつ自閉症幼児児童のアセスメント(PEP-3)を指導に生かすために  
企 画 者：高尾 政代(筑波大学附属久里浜特別支援学校)  
司 会 者：高尾 政代(筑波大学附属久里浜特別支援学校)  
話題提供者：塚田 直也(筑波大学附属久里浜特別支援学校)  
工藤 久美(筑波大学附属久里浜特別支援学校)  
高尾 政代(筑波大学附属久里浜特別支援学校)  
指定討論者：三宅 篤子(帝京平成大学)  
神部 守(筑波大学附属久里浜特別支援学校)

自主シンポジウムB2【25日（土）11:00～12:30】

中ホール 300（3階）

テ ー マ：知的障害を有する自閉症のある子どもの幼児期の教育で大切にすべきこと

企 画 者：柳澤 亜希子（国立特別支援教育総合研究所）

司 会 者：柳澤 亜希子（国立特別支援教育総合研究所）

話題提供者：白沢 さつき（筑波大学附属久里浜特別支援学校）

鈴木 希世佳（筑波大学附属久里浜特別支援学校）

吉村 郁子（筑波大学附属久里浜特別支援学校）

指定討論者：岩田 信子（島根県教育センター）

加藤 敦（筑波大学附属久里浜特別支援学校）

自主シンポジウムA3【25日（土）13:30～15:00】

中ホール 200（2階）

テ ー マ：SCERTSモデルによる包括的、学際的支援 ―求められる一貫性と連携―

企 画 者：吉田 仰希（岩手県立盛岡峰南高等支援学校）

司 会 者：吉田 仰希（岩手県立盛岡峰南高等支援学校）

話題提供者：吉田 仰希（岩手県立盛岡峰南高等支援学校）

仲野 真史（学芸大学附属特別支援学校）

丁 ミンヨン（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

指定討論者：吉井 勘人（筑波大学附属大塚特別支援学校）

自主シンポジウムB3【25日（土）13:30～15:00】

中ホール 300（3階）

テ ー マ：行動障害のある方の地域生活を支えるネットワークの構築

企 画 者：野口 幸弘（西南学院大学）

司 会 者：野口 幸弘（西南学院大学）

話題提供者：西田 奈津子（福岡市地域生活支援センターおおほり）

藤原 あや（筑波大学大学院）

新川 佑介（ヘルパーステーションゆんた）

指定討論者：倉光 晃子（西南女学院大学短期大学部）

自主シンポジウムA4【25日（土）15:15～16:45】

中ホール200（2階）

テ ー マ：「役立つ発達検査（UDTA）」の妥当性をめぐって

企 画 者：小林 重雄（名古屋経済大学）

司 会 者：寺山 千代子（星槎大学）

話題提供者：平 雅夫（社会福祉法人 トポスの会）

多田 裕夫（就労移行支援センター）

是枝 喜代治（東京福祉大学）

指定討論者：小林 重雄（名古屋経済大学）

自主シンポジウムB4【25日（土）15:15～16:45】

中ホール300（3階）

テ ー マ：特別支援教室の開設と運営の諸問題と改善

企 画 者：吉田 昌義（帝京大学教育学部）

司 会 者：有澤 直人（江戸川区立本一色小学校）

話題提供者：砥柄 敬三（帝京大学教職大学院）

石川 恭子（元公立小学校教員）

加藤 美輪子（文京区立青柳小学校）

指定討論者：吉田 昌義（帝京大学教育学部）





## 研究発表

口頭発表 A 1 【25 日（土） 9:30～11:10】

中会議室 201（2 階）

座長 五十嵐 一枝（白百合女子大学）

澤 月子（京都発達障害者支援センター「かがやき」）

1. 直接指導プログラムにおけるアセスメントから家庭支援の取り組み

○澤 月子（京都発達障害者支援センター「かがやき」）

丹羽 智史（京都発達障害者支援センター「かがやき」）

2. ICT を用いた発達障害支援者支援システム ～ペアレントトレーニングの観点から～

○小越 咲子（福井大学）

武澤 友広（障害者職業総合センター）

三橋 美典（福井大学）

3. 自閉症児を抱えながら障害児支援に携わる母親の療育体験の肯定的変化

～自閉症児の母親支援への一考察～

佐藤 弘江（たすけあいサンガ）

4. 家庭での支援を進める土台作り

緒方 裕美子（特定非営利活動法人 kirara ぽこ・あ・ぽこ）

口頭発表B1【25日(土)9:30~11:10】

中会議室202(2階)

座長 東條 吉邦(茨城大学)

舟橋 厚(愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所 教育福祉学部)

1. アニマル・アシスティッド・アクティビティ(ドッグ)中に自閉症児に生起する笑顔(快感情)と社会的行動の促進の関連性について  
—笑顔識別インターフェースによる定量的分析—  
○舟橋 厚(愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所 教育福祉学部)  
青木 健(中部アニマルセラピー協会)、  
鈴木 健嗣(筑波大学・サイバニックス研究センター)
2. 遊びの指導を通してかかわりを学んだ子ども  
磯野 久美(川崎市立久本小学校情緒通級指導教室)
3. 早期療育プログラムの開発 ~2歳代の発達障害児を対象として~  
○原口 恵(東京都小児総合医療センター 子ども家族支援部門 育成科)  
藤原 里美(東京都小児総合医療センター 子ども家族支援部門 育成科)
4. レクリエーション教室での自閉症児支援  
○白川 智香(京都市障害者スポーツセンター)  
久賀谷 洋(京都市発達障害者支援センター)

口頭発表C1【25日（土）9:30～11:10】

中会議室 406（4階）

座長 小林 重雄（名古屋経済大学）

中崎 美智子（岩手大学教育学部附属特別支援学校）

1. 集団教育において音楽技法を活用した自閉症児指導研究  
—指導者と対象児のコミュニケーション構築について—  
平田 千秋（東京純心女子大学）
2. 自閉症の児童生徒の共通理解を図るために  
～本校における自閉症プロジェクトの発足と活動報告～  
中崎 美智子（岩手大学教育学部附属特別支援学校）
3. 通常の学級での自閉症児の特性を生かした個別支援の在り方  
佐々木 洋（茨城県日立市立日立特別支援学校）
4. SCERTS モデルの特別支援学校への導入過程  
西山 剛司（京都教育大学大学院教育学研究科／京都府立南山城支援学校）

口頭発表 A 2 【25 日（土）13:15～14:55】

中会議室 201（2 階）

座長 計野 浩一郎（武蔵野東教育センター）

本田 央（社会福祉法人 筑紫会 研究部）

1. 応用行動分析を用いた問題行動の機能分析とその対応

○松田 幸都枝（株式会社チルドレン・センター）

加藤岡 桃子（株式会社チルドレン・センター）

富樫 耕平（株式会社チルドレン・センター）

2. 共生型（富山型）デイサービス事業における

自閉症スペクトラム児の過ごし方に関する一考察

見浪 真樹（放送大学 教養学部 心理と教育専攻）

3. 激しい自傷行為がある自閉症スペクトラム児への PECS の応用

○桧尾 めぐみ（NPO 法人発達障害サポートセンターピュア）

種村 祐太（NPO 法人発達障害サポートセンターピュア）

門 眞一郎（京都市児童福祉センター）

4. 自傷行為の軽減に向けた調理活動の取り組みについて

○本田 央（社会福祉法人 筑紫会 研究部）

山本 真紗子（社会福祉法人 筑紫会 研究部）

野口 幸弘（西南学院大学）

口頭発表B2【25日(土) 13:15~14:55】

中会議室 202 (2階)

座長 川崎 葉子 (むさしの小児発達クリニック)

服巻 智子 (佐賀大学大学院/心と発達の相談支援 another planet)

1. 自閉症スペクトラム障害のバリアフリー環境に関する研究

○金波 詩明 (明治大学大学院理工学研究科 博士後期課程)

園田 眞理子 (明治大学理工学部建築学科)

2. 自閉症スペクトラム障害における同一性保持、常同行動、強迫症状の調査

○川崎 葉子 (むさしの小児発達クリニック)

平 雅夫 (社会福祉法人トポスの会)

猪野 民子 (むさしの小児発達クリニック)

坂井 和子 (むさしの小児発達クリニック)

村上 公子 (むさしの小児発達クリニック)

三島 卓穂 (いちょう企画)

3. 幼児期より多動が目立ち、12歳から強迫性の症状が顕著になった

自閉症スペクトラム男子例

○平 雅夫 (社会福祉法人トポスの会)

三島 卓穂 (いちょう企画)

川崎 葉子 (むさしの小児発達クリニック)

4. 強い強迫的行動を示す思春期の高機能自閉症児童生徒の指導に関する検討

服巻 智子 (佐賀大学大学院/心と発達の相談支援 another planet)

口頭発表 A 3 【25 日（土） 15:10～16:50】

中会議室 201（2階）

座長 板垣 裕彦（道都大学）

清水 聡（福井県立大学）

1. 発達障害成人の就労の諸相と受けてきた療育・支援との関連

○清水 聡（福井県立大学）

武澤 友広（障害者職業総合センター）

三橋 美典（福井大学）

平谷 美智夫（平谷こども発達クリニック）

2. 自閉症スペクトラム障害生徒のキャリア教育における TTAP の活用 I

○清水 浩（宇都宮大学教育学部附属特別支援学校）

梅永 雄二（宇都宮大学教育学部）

3. NPO 法人「ええ町づくり隊」の地域活動 ～ええ町探検隊～

○高橋 縁（NPO 法人いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊）

菅原 慶子（NPO 法人いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊）

4. 自閉症スペクトラム障害者における感情コントロール指導に関する一考察

—ソーシャルストーリーズ™を活用した支援事例—

○加藤 健生（社会福祉法人はーとふる）

服巻 智子（佐賀大学）

梅永 雄二（宇都宮大学）

口頭発表B3【25日(土) 15:10~16:50】

中会議室 202 (2階)

座長 門 眞一郎 (京都市児童福祉センター)

久賀谷 洋 (京都市発達障害者支援センター)

1. 自閉症スペクトラム幼児への

コミュニケーション・スキルとソーシャル・スキルの支援

○久賀谷 洋 (京都市発達障害者支援センター)

門 眞一郎 (京都市児童福祉センター)

2. 触法アスペルガー症候群青年への援助過程 ～地域との連携を通して～

○丹羽 智史 (京都市発達障害者支援センター)

門 眞一郎 (京都市児童福祉センター)

澤 月子 (京都市発達障害者支援センター)

3. 少年院における発達の視点を取り入れた教育実践

守谷 泰弘 (愛知少年院)

4. 災害が自閉症スペクトラム障害に及ぼす影響

小川 博敬 (岩手県立大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程)

ポスター発表P 1 【24日（金）14:00～16:30】	大会議室 101（1階）
ポスター掲示時間	14:00～16:30
在席責任時間 奇数番号の発表者	14:00～15:15
偶数番号の発表者	15:15～16:30

1. 知的障害を伴う自閉症生徒へのキャリア教育  
—TTAP を活用した進路サポートシートの作成を通して—  
○吉村 奈津江（千葉県立我孫子特別支援学校）  
梅永 雄二（宇都宮大学）
2. ノンバーバルな自閉症スペクトラム児に対するコミュニケーション指導  
—大学における指導現場から家庭・学校への応用の試み—  
○片柳 優美（栃木県立栃木特別支援学校）  
梅永 雄二（宇都宮大学大学院）
3. 自閉症スペクトラムの児童・生徒に対する特別支援教育のあり方  
— 憲法の視点から考える —  
○中山 真人（河合塾 KALS）  
初塚 眞喜子（相愛大学）  
東條 吉邦（茨城大学）
4. 発達障害が疑われる吃音児への動作法による援助  
今野 義孝（文教大学人間科学部）
5. 知的障害を伴う自閉症成人への作業活動参加支援 ～構造化を用いた行動改善～  
○佐々木 千枝（フレンドシップいわて虹の家）  
梅永 雄二（宇都宮大学大学院）
6. 成人自閉症スペクトラム者の職業的自立に必要な  
ライフスキルの獲得についての一考察  
○宇敷 亜美奈（筑波大学大学院人間総合科学研究科）  
梅永 雄二（宇都宮大学）
7. 家庭における ASD 児童のライフスキル習得  
○若林 諭（宇都宮大学大学院 特別支援教育専攻）  
梅永 雄二（宇都宮大学大学院 特別支援教育専攻）



8. 震災による長期避難児への支援（実践報告）

谷地 ミヨ子（S-空間（エス・スペース）／NPO 法人 MM サポートセンター）

9. 自閉症スペクトラム障害者の自動車運転に関する課題とサポートの検討

～ある自閉症スペクトラム障害女性の事例から～

○栗村 健一（宇都宮大学大学院教育学研究科）

土原 裕人（宇都宮大学大学院教育学研究科）

若林 諭（宇都宮大学大学院教育学研究科）

梅永 雄二（宇都宮大学）

10. 自閉症スペクトラムの生徒に対する支援ツールを用いたなわとび指導

○宮野 雄太（横浜市立港南台ひの特別支援学校）

梅永 雄二（宇都宮大学）

11. 知的障がい幼児の保護者に対するペアレント・トレーニングに関する一考察

○関谷 めぐみ（FUN FACTORY）

河合 高鋭（和泉短期大学）

梅永 雄二（宇都宮大学）

12. 知的障害を伴う自閉症スペクトラム者の社会参加における一考察

—果樹園における就労の取り組みから—

○山口 結衣（宇都宮大学大学院教育学研究科）

梅永 雄二（宇都宮大学）

13. 通常学級における自閉症スペクトラム児一人ひとりの課題に応じた支援

○野田 有子（宇都宮大学大学院教育学研究科）

梅永 雄二（宇都宮大学）

ポスター発表P2【25日(土)9:30~12:00】	大会議室101(1階)
ポスター掲示時間	9:30~12:00
在席責任時間 奇数番号の発表者	9:30~10:45
偶数番号の発表者	10:45~12:00

1. 広汎性発達障がいへの疑いがある不登校児の登校支援の考察  
清水 初穂 (河内長野市立小山田小学校)
2. 知的障害を合併する ASD 児 1 事例に対する社会性発達指導の経過  
遠藤 俊介 (埼玉県立小児医療センター／群馬県立しらがね学園)
3. アスペルガー症候群の特性を見せるマンガキャラクターについての考察  
—『めだかボックス』のヒロイン「黒神めだか」から—  
中川 祐志 (六甲アスペルガー研究所)
4. ソーシャルストーリーと手順書を用いた自己肯定感を育む支援  
—年末の窓ふき活動の行動獲得から—  
原 康行 (和歌山県立はまゆう支援学校)
5. 自閉症スペクトラム生徒を対象としたソーシャルスキルトレーニング  
—旅行を通して—  
○田中 智樹 (広島大学大学院教育学研究科博士課程前期)  
石川 晃太郎 (広島大学教育学部)  
高木 徳子 (京都女子大学 OG 発達支援研究所)
6. 当事者を中心に据えたパーソン・センタード・サポートにおける実践  
— ボトム・アップでもトップ・ダウンでもない新たな支援を目指して —  
○松田 光一郎 (中部学院大学大学院人間福祉学研究科博士課程)  
福地 潮人 (中部学院大学大学院人間福祉学研究科)
7. 自閉症スペクトラム児のための選択行動及び要求行動の獲得支援  
竹中 正彦 (兵庫県立姫路特別支援学校)
8. 通常学級における ABA 利用の有効性  
—トークンエコノミーを利用した書き取り課題の意欲向上を目指して—  
古山 政一郎 (静岡県浜松市立神久呂小学校)

9. トークンを使って指導した事例報告 一行動の変容で褒められる快感一  
赤瀬 瞳 (大阪府富田林市立富田林小学校)
10. 対人相互性の向上に内的な欲求と構造化が重要であった症例  
～対人関係の治療前の準備～  
○小田島 悠也 (美幌療育病院)  
小宮山 則彦 (美幌療育病院)
11. 大学と連携した作業学習の取組  
○池崎 理恵子 (富山大学人間発達科学部附属特別支援学校)  
水内 豊和 (富山大学人間発達科学部)
12. 広汎性発達障害と診断された児童の再登校支援について  
高橋 順治 (生駒市立生駒小学校)
13. 自閉症スペクトラム児の中学校生活におけるリスク抽出  
佐藤 匡仁 (岩手県立大学)
14. 単語レベルの音声言語理解が確立された PDD 児童への言語聴覚療法  
～単一事例から検討した PECS と共同注視・対人相互アプローチの併用効果～  
小宮山 則彦 (美幌療育病院)

ポスター発表P3【25日(土) 13:30~16:00】

大会議室 101 (1階)

ポスター掲示時間

13:30~16:00

在席責任時間 奇数番号の発表者 13:30~14:45

偶数番号の発表者 14:45~16:00

1. 自閉症スペクトラム児への療育実践

- 山藤 由紀(公益財団法人 明治安田こころの健康財団 子ども療育相談センター)  
田代 結(公益財団法人 明治安田こころの健康財団 子ども療育相談センター)  
新井 利明(公益財団法人 明治安田こころの健康財団 子ども療育相談センター)

2. CSBS を用いた保健センターフォローアップ教室における

グレーゾーン児への支援の検討

- 衣笠 広美(筑波大学大学院人間総合科学研究科)  
園山 繁樹(筑波大学人間系)

3. 障害者支援施設における自閉症者への余暇活動の支援方法

—生活介護と入所支援の連携から—

- 村田 泰弘(日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター)

4. 自閉症成人の生活を豊かにするための記録行動および家族支援の検討

- 石坂 務(横浜市立上菅田特別支援学校)  
渡部 匡隆(横浜国立大学)  
岡村 章司(兵庫教育大学)

5. 知的障害を伴う自閉症者のタイムスリップ現象における一考察

～強度行動障害を呈する自閉症者への支援を通して～

- 細野 智行(特定非営利活動法人 KUMOI)

6. 『入所施設での支援』重い知的障害のある自閉症の方へのはたらくサポート

- 玉井 成二(社会福祉法人 関西中央福祉会 だんけのその)

7. 視覚障害を伴う自閉症・重複障害生徒の職業・キャリア教育

—コミュニケーション能力の向上を目指した取り組み—

- 川井田 洋一(兵庫県立視覚特別支援学校)

8. 自閉症スペクトラム障害児の普通高校生活を支える要因

—本人と保護者へのアンケート調査から—

仁平 説子（東北大学病院小児科）

9. 知的障害を伴った自閉症児に有効な視力評価方法の検討

—実践結果と独自に作成した絵視標の妥当性の検証から—

工藤 志歩（発達支援センター リーフジュニア中目黒）

10. 東日本大震災とASD児の行動変化

○滝 明日香（茨城大学大学院教育学研究科）

東條 吉邦（茨城大学）

11. 自閉症スペクトラム児に対する就学支援

—不安が強く登園渋り傾向の幼児—

○渡邊 喜久枝（茨城大学大学院教育学研究科）

東條 吉邦（茨城大学）